

## 令和3年度 山王保育所事業計画

### 1. 概要

#### ①運営方針

- 新型コロナウイルス感染症の流行により社会の生活の仕方が急変し、保育所入所申込数にも影響が出ています。特に0歳児の申込人数が激減し、西成区では募集人数の50%、阿倍野区で65%、浪速区で60%と定員割れしている状況です。コロナ禍で保育園生活に多くの規制が掛かっていますが、今年度は安全安心の中にも行事を楽しみ、地域と繋がり、子育て支援の在り方を考え、保育園生活の新スタイルを勧めます。そこを踏まえゆるぎない保育を行う事で他園との違いを見せ、選んでいただける保育所になるように努めます。
- 今年度は園長が交代します。新園長を中心に新たな組織づくりを行います。
- 新卒者3名が入職します。リーダーを中心に指導に当たり、相乗効果で互いの質の向上につながるように努めます。また、職員間のコミュニケーションを図り互いに意見の出しやすい環境を整えます。
- 業務の効率化を図るため、全館通信可能なwi-fi設置工事と各クラスにスマートフォンを1台ずつ導入し、災害情報の取得や緊急時の円滑な連絡、ドキュメンテーションの写真撮影などに役立て働きやすい職場を目指します。

②定 員 90名

③事業日数 293日（日曜、祝日及び12月29日より1月3日は休園とします）

④開所時間 平日7:30～18:30 土曜日7:30～18:30

#### ⑤保育時間

（保育標準時間） 平日・土曜日 7:30～18:30

（保育短時間） 平日・土曜日 早朝保育 7:30～8:00  
通常保育 8:00～16:00  
延長保育 16:00～18:30

#### ⑥職員数

園長1名 主任1名 保育士17名（うち契約職員2名 パート保育士1名 パート派遣保育士2名） パート看護師1名 栄養士1名 調理員3名（うちパート調理員2名）、嘱託医（内科・歯科）各1名（内科年3回、歯科年1回 健診）

## 2. 保育運営

### ①保育理念

- 子どもは子ども同士認め合い、助け合い、励まし合い、学び合う子ども社会の中で成長することが望ましいと考えます。
- 私たちは、子どもの個性・人格を尊重し、自立を促し、日々の生活の中で家族とともにその成長・発達の援助を行います。

### ②保育方針

- 子どもたちが生き生きと生活・活動できる環境を整え、自己を十分発揮し、人として『生きる力』を育む。
- 保護者との信頼関係を築き、安心して預けられる保育の場を提供する。
- 地域における子育て支援のため、保育に関する相談や助言の役割を果たす。

### ③保育目標

- 乳児期の愛着関係を基盤とし、認知能力（記憶、計算、判定、言語理解など）と非認知能力（意欲、協調性、粘り強さ、忍耐力、計画性、思いやり、自己肯定感）を育む。

### ④クラスの編成及び職員配置

0歳児	さくらんぼ組	3名	保育士	1名
1歳児	いちご組	12名	保育士	2名
2歳児	もも組	18名	保育士	3名
3歳児	くり組	18名	保育士	2名（うち3歳児対応加配保育士1名）
4歳児	みかん組	19名	保育士	2名（うち障がい児加配保育士1名）
5歳児	かき組	20名	保育士	2名（うち障がい児加配保育士1名）
合計園児数		90名	保育士	12名
主任保育士		1名		
障害児保育担当保育士		2名		
市基準フリー保育士		2名		

### ⑤保育内容

- 0歳児から5歳児までの発達過程と子ども一人ひとりの育ちの背景を理解したうえで、指導計画を立て、子どもが「気づく、試す、面白い、もう一回」を繰り返す保育を行います。日々の保育のPDCAを繰り返し個々に沿った支援を行い意欲と主体性を育みます。
- リトミックを行い、ピアノの音を集中して聴き即時反応をし、身体の使い方を丁寧に教えます。また、「朝の意味ある運動」で脳内ストレスを発散させるとともに、体力、筋力の向上と体幹を鍛えるカリキュラムを考え取り組みます。

- 乳児期は保育士との愛着関係のもと安心して過ごせるよう「じゃれつき・運動遊び」を毎日取り入れます。また、普段の保育の中で視覚・聴覚・触覚・味覚・嗅覚の五感と固有感覚・前庭感覚の発達を促す保育を行い、感覚統合に繋がるよう保育環境を整えます。
- 保育士の指示や声掛けが多くなっていることを保育士同士で注意しあえる関係を作り、子ども達に必要以上の声掛けはせず、その分、その子の思いや、発達段階を読み取るべく、子どもの姿を観察します。そして、子ども自身で興味を持ち考え行動しようとするきっかけとなる仕掛けのある保育を行います。
- リーフレット「種をまこう」を教材として月1回人権教育を行います。リーフレットの話と共に普段の生活の中に散りばめられている場面を子ども達と一緒に考え、思いやりや善悪の区別等を示していきます。また、保育者も一人ひとりの子どもの人権を尊重した保育を行います。虐待への早期発見に努めます。
- 栄養士、調理師も給食時間に各クラスを巡回し子どもと一緒に給食を食べ、子どもの発達や嗜好を理解した上での献立、食育活動を計画します。給食室、職員との連携のもと菜園活動、クッキングを行い、その活動が子どもたちの何に繋がり成長を促すのかの目標を共通理解して取り組んでいきます。
- 今年度も外部講師による、音楽指導（和太鼓）・英語指導・歌唱指導・サッカー指導、絵画指導を行います。
- 感染予防対策を行いながらも子供の成長に繋がり保護者の方々に飲んで頂けるよう、行事内容を見直し計画を立て進めます。

#### ⑥家庭との連携

- 保育参加（年2回）・クラス懇談会・個人懇談会・家庭訪問・（各年1回）を通して保育理念、方針、クラスの取り組みを丁寧に伝え理解を求めるとともに、保護者の思いを聞き取りながら、子どもの育ちを双方で確認し合い、家庭と連携を図ります。
- ドキュメンテーションでその日の子どもの姿や保育のねらいが見える化し分かりやすく保護者に伝えます。
- 外国籍の子どもが全体の30パーセント在籍しています。互いの文化を認め合いながら、ポケットや写真などを用いコミュニケーションを図り、戸惑いなく保育園生活が送れるように支援します。
- 配慮の必要な家庭については、各区の子育て支援室と連携し情報を共有し、必要に応じ子ども相談センターや、カースワーカーと共に支援を行います。
- 発達障がいのある子どもの家庭には、毎月、面談で保護者と一緒に個別計画を立て保育を進めます。また、療育施設と連携を図り、情報の共有をします。
- 卒園児・転園児とその保護者への支援について、卒園・転園後も継続して行き、子どもたちを見守り、園長が相談窓口として受け付けます。

## ⑦人材育成

- 新卒3名を迎えるに当たり「一日の保育の流れ」を主任保育士、リーダーが中心となり各クラスで勉強し、日々の保育の中で確認し合い周知徹底を図ります。
- 毎月1回グループ毎に集まり自分の思いや相手の思いが伝わる機会を設けます。互いの意見を受け止め認め合う関係作りから始め、一人一人が組織の原動力となる一員であることを自覚し向上心をもって課題に取り組む力をつけたいと考えています。
- 園内の情報や困りごとは速やかに園長、主任保育士に報告・連絡・相談を徹底し、全職員が共有できる組織体制づくりに努めます。
- 年間の職員研修計画に基づき園内外の研修やウェブ研修に参加し、保育の質の向上と同時に、法人理念・方針を達成できる職員育成に努めます。また、キャリアパス研修参加の機会を図ります。

## ⑧地域の実態に対応した事業

### 地域子育て支援事業

西成区、阿倍野区、浪速区、天王寺区の支援室、保健師等、社会資源と連携しながら進めていきます。また、ホームページや情報誌「はぎっず」にて情報発信をします。

- 月に4回地域交流を行います。(10:00～11:00)  
第2金曜日…近隣の親子が安心して遊べる憩いの場としての園庭開放を行います。  
第1.3.4金曜日…保育体験日。年齢に合ったクラスに親子で参加します。
- プール開放や運動会、ハロウィン、クリスマス会など行事に地域の親子を招待します。
- 「スマイルサポーター」の活動を通し相談事業を行います。

### 地域活動

- 天下茶屋保育所、天下茶屋幼稚園、わかくさ保育園と保幼交流を行います。
- 山王老人会や、隣接している老人施設みどり苑で和太鼓演奏を披露し、交流を行います。
- 就学先の小学校を訪問し各教室や授業風景を見学し就学に向け意識付けをします。
- 金塚小学校主催の「金塚祭り」に参加し小学生と交流します。
- 今宮中学生の職場体験学習の受け入れをします。
- 天王寺動物園と連携し、保育園で収穫したじゃがいものプレゼントをします。
- 西成警察署と連携し地域防犯活動やクリーンキャンペーンに参加します。
- ボランティア学生の受け入れをします。

## ⑨苦情処理

- 第三者委員2名の設置をし、苦情解決の責任者を園長、苦情受け付け担当者を主任保育士とします。苦情解決システムについては園のガイドブックやポスターの張り出し、入園説明会で保護者に周知します。
- 「ご意見箱」を2箇所設置し、保護者からの意見の集約をします。  
寄せられた意見について、全職員に周知し速やかに改善計画を立て再発防止に努めます。また、概ね24時間で回答書を掲示し、協議中の事案については経過の報告をします。

## ⑩リスクマネジメント

- コロナウイルス感染症の終息がまだ見えてきません。感染症マニュアルの見直しと感染予防のポイントをまとめた研修を行います。日々、消毒場所や時間を決め記録をとりながら漏れのないように衛生管理を行います。また、保護者、園児、職員とも毎日欠かさず健康観察表に体温等記入し体調チェックを行います。
- 「よい子ネット」を利用し、非常災害時や感染症発生状況等の配信を随時行っていきます。また非常災害対応については、3月の個人懇談会で一人一人に伝え、緊急連絡先の確認を行い次年度に備えます。
- 危機管理委員会を中心に危機管理マニュアルの見直しを園内研修計画に位置付け、新人職員に分かりやすく、また、パート職員を含め全職員に行き渡るようにグループ毎に研修を行い周知していきます。
- 保健年間計画に基づき、感染症・SIDS対応・誤飲誤嚥・予防接種・食中毒・救急看護等の園内研修を行います。特にSIDS・誤飲誤嚥・アレルギー誤食・溺水・吐瀉物の処理は役割を決めマニュアル通りシミュレーションして実際に備えます。
- ヒヤリハットを気付く毎に記入し職員会議で話し合うことで怪我や事故を未然に防ぎ子どもが安全に過ごせるように努めます。また、早急に対処が必要な場合は園長、主任保育士に直に相談し速やかに対処します。
- 災害に備え備蓄品等防災グッズの確保と点検を行います。(3月)
- 月1回防災訓練を実施します。(火災・地震・津波・台風・消火訓練・通報訓練等)
- 救命救急の職員研修(年1回5月・西成消防署)また、総合災害訓練(火災・消火・地震)

## ⑪その他

- Wi-Fi 設置工事
  - スマートフォン8台の導入
  - パソコン3台購入
- を予定しています。